



日立製作所＜6501＞、日立マクセル＜6810＞など上場子会社5社をTOBで完全子会社化へ



日立製作所は、日立マクセルなど上場子会社5社に対し、完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を実施することを決議した。対象となるのは日立マクセルのほか、日立プラントテクノロジー、日立システムアンドサービス、日立ソフトウェアエンジニアリング、日立情報システムズ。世界的な不況による厳しい経営環境の中で、日立グループ全体の経営資源配分の最適化を図るには、各子会社との資本関係を強化することが最善と判断した。各社ともTOB成立後に上場廃止となる見通し。

1株当たりの買付価格は日立マクセル1740円（事業再編報道前の営業日である7月24日時点の終値に対し43.3%のプレミアム）、日立プラントテクノロジー610円（同29.8%のプレミアム）、日立システムアンドサービス2150円（同64.1%のプレミアム）、日立ソフトウェアエンジニアリング2650円（同54.8%のプレミアム）、日立情報システムズ2900円（同33.3%のプレミアム）。

5社合計の買付額は2820億円。公開買付期間は2009年8月20日から10月8日までを予定している。